



すこやかにくらしをはぐくもう！ →

杜の都産業保健

vol.
39

MORINOMIYAKO OCCUPATIONAL HEALTH

contents

■ごあいさつ

■一番町健診クリニック MRI導入のお知らせ

■News & Topics

全衛連 東北・北海道地方協議会

第22回職種別打合せ会議の開催

放射線技師部会／渉外・事務部会／臨床検査技師部会

平成25年度 全衛連功績賞並びに奨励賞の受賞

社会貢献広報事業完了のお知らせ

■より健康な心身 より快適な職場を目指して 健康管理に取り組みませんか

健康相談・指導

健康レスキュー

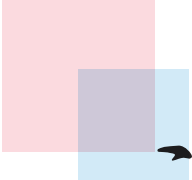
メンタルヘルスケア

THP(トータル・ヘルスプロモーション・プラン)

健康教育

特定保健指導

■一番町健診クリニック



ごあいさつ

理事長
山田 章吾



日頃より当会の事業運営に多大なるご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

当会は昭和30年9月、東北寄生虫予防協会として設立し、昭和46年6月、宮城労働基準局長（当時）から財団法人宮城県労働衛生医学協会として設立許可を受けました。平成19年3月には、東北地区に本拠地を置く健診機関として初の厚生労働大臣認可機関として財団法人杜の都産業保健会に名称を変更いたしました。また、公益法人制度改革により、平成24年4月には内閣総理大臣認可の一般財団法人杜の都産業保健会として新たなスタートを切り、県内外の事業所で働く方々の健診事業を推進しております。

平成23年10月に開院しました一番町健診クリニックは皆様方のご支援をいただき、順調に業績を伸ばしております。また、以前から検討しておりましたMRIを導入し、5月の初旬から稼動する予定になっております。主に脳検診に使用する予定ですが、2次検査やオプション検査での使用も検討しております。

平成23年3月に発生した東日本大震災から丸3年となり、未だに仮設住宅で不自由な生活をされている方々やお亡くなりになられました皆様には改めてお見舞いとお悔やみを申し上げます。一日も早い復興と復旧を心からお祈りいたします。

今後とも皆様方に信頼いただける健診機関として全職員一丸となって健診事業を進めてまいりますので、更なるご指導ご支援をお願い申し上げまして、ごあいさつとさせていただきます。

一番町健診クリニック MRI 導入のお知らせ

以前より設置について検討を重ねてきましたMRI装置を遂に、一番町健診クリニックに導入いたします。検査の開始は5月初旬を予定しており、仙台市内での自施設においてMRI検査を提供できる健診機関となります。

今回導入するMRI装置は、シーメンス社製の「MAGNETOM ESSENZA 1.5T」という最新鋭の機種です。

MRI (Magnetic Resonance Imaging: 磁気共鳴画像) 検査とは、レントゲン撮影やCTのように放射線を使用せず、強い磁石と電波を使って体内の状態を撮影する検査で、どなたでも何回でも撮影することができ、体に害がないと考えられています。

脳検診で使用することがメインとなりますが、1次検査として腹部・骨盤部・頸椎・腰椎検査を実施し、2次検査として全身の精密検査を造影も含めて実施する予定です。MRI装置は体内の様々な病巣を発見することができます。特に脳や卵巣、前立腺などの下腹部、脊髄、四肢などの病巣に関しては、圧倒的な検査能力を持っています。

脳検診は3つのコースをご用意しております。「スタン

ダード脳検診コース」は、脳疾患のスクリーニング（いわゆる「脳卒中^{※1}」のリスク評価）として、スタンダードなメニューです。Axialと呼ばれる水平断画像3種類とMRAと呼ばれる脳血管撮影（血液の流れを画像化する）を組み合わせています。

「脳検診Plusコース」は、スタンダードコースに加え、脳梗塞を誘発する頸動脈の狭窄を画像で評価できる頸部MRAを組み合わせています。

「スペシャル脳検診コース」は、脳検診Plusコースに「Lox-index」というアテローム性血栓^{※2}（心疾患及び脳梗塞の原因となる）のリスク評価ができる検査を組み入れ、より詳細に脳卒中のリスクを評価できるメニューとなっております。

MRI検査のサービス提供を開始することで、当健診クリニックをより多くの方々に周知いただくとともに、興味をもっていただくことが今回の大きな目的であります。これまでの脳検診は、提携先の病院で受診していただいていたのですが、今後は当クリニック内で定期健診と併せて受診できますので、受診者の方々の負担を軽減することができます。

当会のアピール・ポイントである専門医による画像診断を最大限に生かしていくに当たって、このMRI装置が今後大きな役割を担っていくことを期待しております。

※1

脳卒中には、脳へ血液を送る血管が詰まる「脳梗塞」、脳の中で細い血管が破れる「脳出血」、脳の太い血管の一部が膨らんだコブ（動脈瘤）が破裂して脳の表面に出血が広がる「くも膜下出血」があります。頭痛、片麻痺、言語障害、失調、視覚障害など脳卒中が疑われる場合は、救急車を呼び一刻も早く専門病院を受診してください。

※2

アテローム血栓（症）は、動脈が狭くなる血管の病気です。アテロームは、脂肪性の沈着物でお粥状のかたまりをつくるため、大動脈、中大脳動脈など比較的大い動脈にできやすいとされています。



全衛連 東北・北海道地方協議会 第22回職種別打合せ会議の開催

「全衛連 東北・北海道地方協議会 第22回職種別打合せ会議」が平成26年2月6日(木)～7日(金)の両日、公益財団法人 パブリックヘルスリサーチセンター北海道支部 札幌商工診療所を担当機関として札幌市内のホテルで開かれ、健診機関11機関が参加しました。

この打合せ会議は、公益社団法人 全国労働衛生団体連合会に加盟している東北・北海道地区の健診機関の交流と健診技術の向上を主な目的としており、今回は「渉外・事務部会」、「臨床検査技師部会」、「放射線技師部会」の3部会に分かれて、それぞれ意見交換が行われました。



放射線技師部会

放射線技師部会は、10機関21名が参加しました。会議は各機関がそれぞれ抱えている問題点や今後の放射線部門の動向などについて、話し合いが行われました。

各機関共通のテーマとして話し合われたのは、X線装置のデジタル化に伴う個人番号(ID)の取り扱いに関する問題です。転職などで事業所が変わると新たなIDが発行され、同一の受診者に対して複数のIDが存在するという機関がある一方、転職等で事業所が変わった場合でも同一人物と確認が取れば既存のIDを使用したり、受診者ひとりにはひとつのIDしか存在しないなど各機関によって対応はいろいろでした。受診者ひとりに対しIDをひとつに統一することは、今後の課題だと思っています。

次に、デジタル健診車とアナログ健診車が混在することによる問題点については、①読影医師による比較読影がやりにくい。②モニターでの読影とフィルムでの読影が混在し、準備や処理が煩雑になる。③アナログ車を使用する場合、自動現像機のメンテナンスやX線フィルムの購入コストがかかるなどの意見が出されました。将来的にはデジタル化に移行するため、経費の増加が考えられます。

また、胃部X線検査の撮影方法(直接撮影・間接撮影)については、

デジタル化が進んでおり、直接撮影は任意型検診撮影法、間接撮影は対策型検診撮影法での実施や区別をつけずに健診料金で事務的に区別していたり、基本的に間接撮影のオーダーは受けないなどの意見が出されました。

アナログ装置とデジタル装置が混在している機関では、直接撮影はデジタル装置で撮影し、間接撮影はアナログ装置で撮影している機関もありました。

最後にデジタル化が進むなか、画像記録媒体やPCに対するウィルス対策については、画像記録媒体はUSBメモリやDVD-RAMを使用しており、ウィルスチェックは勿論のこと、専用の媒体を使用し、目的以外には使用しない。私物は使用しない。また、PCにおいても必要最低限のドライブやUSBポート以外は使用できないなど、万全な対策がなされていた。

2年ぶりの放射線技師部会でしたが、共通の議題はアナログからデジタル化に移行するにあたって、各機関が抱える問題でした。当会も早期の完全デジタル化を実現するため、計画的に機器を入れ替えスムーズな運用を目指していきたいと思っています。

渉外・事務部会

渉外・事務部会は、10機関24名が参加しました。主に「平成26年4月に消費税率改正に伴う健診料金の設定やデジタル料金の導入」、「消費税率の改正に伴う見積書・料金表の表示」について協議されました。

健診料金については、デジタル(直接)、アナログ(間接)に区別して対応されており、施設内健診については、デジタル化が進みデジタル料金になっている機関がほとんどでしたが、一部アナログ料金と同額の機関もありました。巡回健診については、デジタル装置とアナログ装置が混在しているため、それぞれの料金で対応している機関が多数でした。

消費税率改正に伴う見積書・料金表の表示については、「税込み」と「税抜き」の両方を表示する機関や「内税」表示の機関、顧客と契約内容により使い分ける機関など様々でした。

新健診システム導入については、導入を検討している機関が3機関、

先送り3機関、既に導入している機関が3機関、自社開発が1機関でした。導入に伴うメリットは、各受診者の検査項目が事前に設定できるため、健診現場の負担が軽減される。検査項目の漏れが減るなどが挙げられました。デメリットは、検査項目の変更や追加が多くあり、費用がかさむ。導入当初は、スタッフの練習不足による受付ミスなどが挙げられました。

新システムを導入する際は、打合せ期間を十分に設け、各関係部課との連携を密にすることが必要であり、試用期間も充分に取り、練習を重ねることが大切だと思いました。

また、各健診機関が抱えている問題や課題は同じであると感じました。今後もこのような会議を通じて様々な情報を得て、業務に反映できるように努力して参ります。

臨床検査技師部会

臨床検査技師部会は、10機関19名が参加しました。最も大きな議題は、臨床検査技師が不足しており、技師の確保が難しいこと。技師を確保するために色々手段を講じているものの、確保できていないことです。

議案については、「巡回健診時の尿検査の実施方法」について討議されました。ほとんどの機関は事前に採尿容器を配布し、健診当日回収していました。また、容器の事前配布と健診現場での採尿を併用している機関もありました。中には、検査項目3項目以下の場合、大きめの綿棒の先端に尿をつけ、その場で試験紙に浸して測定したり、4項目以上の場合には尿スピッツを使用して施設に持ち帰り、自動分析器で測定している機関もありました。特殊な検査方法にちょっと驚きました。

次に、「心電図の波形や超音波の画像などの電子ファイリング」について、電子ファイリングを実施している機関は当会を含めて2機関、超音波検査のみ今年度導入予定の機関が1機関、超音波の画像のみDVDに保管している機関が3機関で、その他の機関は紙ベースで保管している状況でした。紙ベースで保管している機関の共通の問題点は、保管場所の確保と過去のレポートを探す際に手間がかかることでした。

しかし、各機関とも健診日ごとに巡回と施設に分けていたり、事業所を五十音順にしていたりと工夫されていました。

各健診機関が集まることで今後につながる交流や意見交換ができ、大変有意義な会議となりました。

■ 平成25年度 全衛連功績賞並びに奨励賞の受賞

公益社団法人 全国労働衛生団体連合会主催の平成25年度全衛連運営研究協議会が平成25年11月29日(金)、大阪・ホテルメルパルク大阪で開催されました。当会からは、山田理事長、千葉一番町健診クリニック部長および茂木健診管理課職員が出席しました。

運営研究協議会の席上において、表彰式が行われ、千葉部長が「労働衛生関係業務に20年以上従事し、その業績が特に顕著であった」として功績賞を受賞しました。

また、茂木職員が「労働衛生関係業務に10年以上専念し、さらに今後の活躍に期待し得る」として、奨励賞を受賞しました。

2人は、受賞にあたり「健康診断業務に携わる者として、今までの経験と知識を十分に生かし、職務に専念します」と抱負を語りました。

今後ますますの活躍が期待されます。



功績賞

一番町健診クリニック
部長
千葉 諭



奨励賞

健診管理課
茂木 里美



■ 社会貢献広報事業完了のお知らせ

この度、平成25年度の財団法人日本宝くじ協会の助成を受けて下記事業を完了いたしました。

記

事業名	平成25年度検診車の整備事業
事業の内容	胸部X線検診車 1台
実施場所	宮城県仙台市宮城野区 小鶴一丁目21-8
完了年月日	2014年2月6日

一般財団法人 杜の都産業保健会
理事長 山田 章吾

より健康な心身 より快適な職場

を目指して健康

保健師・管理栄養士・健康運動指導士などの専

健康診断の結果を受け、一人ひとりに合わせた生活習慣改善をアドバイス

健康相談・指導

実施形態

事業所様のご要望に沿った健康相談・指導

実施内容

身体だけでなく心にも配慮した相談・指導

- 健診当日の健康相談(巡回)
- ドック健診時の健康相談(クリニック)
- 健診後の健康相談
- 定期的な派遣での健康相談
- 運動指導
- 栄養指導

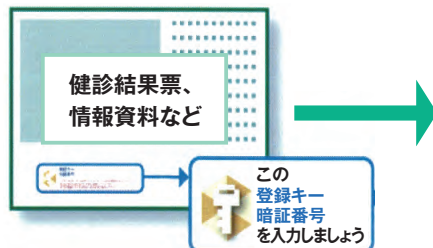
- 健康に関する不安や疑問への対応
- 検査結果や所見の説明
- 必要時再検査の受診勧奨
- 日常生活における生活指導



料 金 個人面談(1人15分程度) 2,000円～

インターネットを通じて個人の健康管理

健康レスキュー



健 診 記 録 閲 覧

健診の結果をケータイやパソコンでいつでもどこでもご覧いただくことのできる機能。グラフ表示やリスト表示で過去からの数値の変化ぶりも一目瞭然。分かりやすく確認できます。

健診ごとに
随時閲覧可能

生活

「心とからだの健康づくり」を目指した活動

THP(トータル・ヘルスプロモーション・プラン)

健康づくり計画

職場の実態に応じた健康づくりを効率よく進めるための目標や活動内容を決めます。



THPバス

健康測定

健康指導を行うのに必要な一人ひとりの生活習慣や健康状態のチェックを行います。

生活習慣改善と職場の活性化

THP活動の中で生活習慣の改善効果を確認し、次の計画へつなげます。

実践活動

- ・ウォーキング
- ・リラクゼーション
- ・バランスの良い食事など

健康指導

健康測定結果や産業医による指導票から、保健・栄養・運動・メンタルヘルスケアの各THPスタッフが具体的な健康アドバイスをを行います。

職場環境や労働者の健康状況等を踏ま

健康教育

保 健

講話内容

- ◎ 健診結果の読み方
- ◎ 生活習慣病について
- ◎ 熱中症対策
- ◎ そろそろタバコをやめませんか?
- ◎ 基本的な応急処置



運 動

講話内容

- ◎ VDT作業の注意点
- ◎ 腰痛予防・肩こり予防のための運動
- ◎ メタボリックシンドローム予防について



料 金 派遣料(1時間)

ご予約・お問合せ: 一般財団法人 杜の都産業保健会 健康推進課
〒983-0031 宮城県仙台市宮城野区小鶴1丁目21番8号

TEL 022-251-7261

管理に取り組みませんか

門スタッフが皆さんの『心と身体の健康づくり』をサポートいたします!!



理を総合的にお手伝いするサービス



お手元に届いた健診結果票などに、フェニックスケアの登録キーと暗証番号が記されています。

登録

健康手帳

日々の自分の体や心の状態を書き込み、残していくための機能。記録した内容は、表や時系列のグラフで見やすく表示でき、経過が一目でわかるので、健康に気をを使う習慣が身につきます。

習慣の記録・確認

労働者の6割がストレスを感じている労働環境改善

メンタルヘルスケア

メンタルヘルス対策は、企業における安全配慮義務の1つです。

当会の強み!

全国労働衛生団体連合会
(全衛連)

メンタルヘルスサービス

- 専門の資格を持ったスタッフが対応
- 健康診断と一緒に受けることが可能
- 事業所へお伺いしての実施が可能
- 厚生労働省『労働者の心の健康の保持増進のための指針』に沿ったサービス内容
- 医療機関や産業保健センターなどの外部機関とのネットワークづくりを推進
- 健康診断と一緒にメンタルヘルスチェックを行うサービス
- 健康診断と併せて実施可能なため、「こころと体のトータルチェック」ができる
- コンピューター診断+結果票に基づく事後指導まで対応可



料金

こころの健康相談 1人(15分程度) 2,000円~

全衛連メンタルヘルスサービス
・個人結果表 630円/人
・集団レポート 2,520円/部署
・事後指導 7,000円/人

えながら、健康講話・健康増進教室を開催

メンタルヘルス

講話内容

- ◎ ストレス病を予防しよう
- ◎ ストレスとの上手な付き合い方
- ◎ セルフケアから始まるメンタルヘルス



体験

アロマテラピー

栄養

講話内容

- ◎ 脂肪をためない食事
- ◎ バランスの良い食事
- ◎ 生活習慣病予防のコツ
- ◎ 間食・夜食・飲酒の適量



体験

料理カード

20,000円~ ※実施時間はご要望に応じます

メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の予防と改善

特定保健指導

健診結果から【動機付け支援】もしくは【積極的支援】と判定された方に、6ヶ月間生活習慣改善のサポートを行います。

専門家が全力サポート

- ・保健師
- ・管理栄養士
- ・健康運動指導士

当会の5つのメリット

実施形態が選べる

- ・訪問指導
- ・健診クリニックでの指導
- ・インターネット支援(メール支援)など

豊富な実績

平成24年度 現在
事業所数/約40箇所
相談人数/約3,000人

一人ひとりに寄り添った関わり

無理なく♪楽しく♪
心地良く♪
できそうなことを、
一緒に探しながら

未来も見据えた関わり

ご自身の健康について考えるきっかけになるよう、現在だけでなく定年・定年後も見据えたサポート

※特定保健指導の実施につきましては、健康保険組合様にご確認ください。

(受付時間:月~金曜日 8:30~17:00)

健康管理に関する詳しい内容はWEBで
<http://www.morisanho.or.jp>

杜の都産業

検索

内閣総理大臣認可機関 労働衛生サービス機能評価機構認定機関

「東北の健康を支え、元気な笑顔を届けたい」
それが私たちの想いです。

一般財団法人 杜の都産業保健会

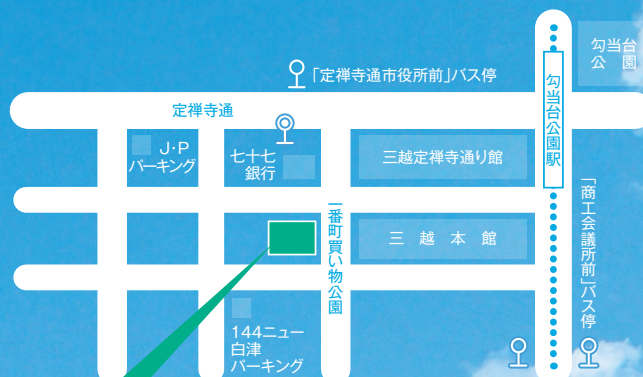
一番町健診クリニック

充実したメニューの人間ドック健診、各種健診
自分にあった健康管理のためのオプション検査

お電話でのご予約、お問い合わせは

TEL: 022-251-7261

(月～金曜日 8時30分～17時)



一番町健診クリニック

〒980-0811

宮城県仙台市青葉区一番町4-9-18 TICビル5F

<http://www.sendaikenshin.jp/>

一般財団法人 杜の都産業保健会 機関紙編集委員会

〒983-0031 仙台市宮城野区小鶴一丁目21番8号

TEL: 022-251-7261 FAX: 022-251-7291

ホームページ: <http://www.morisanho.or.jp/>

発行: 平成26年4月

この印刷物は、環境にやさしい「水なし印刷」
と「植物油インキ」を使用しています。

